

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【公開番号】特開2008-52280(P2008-52280A)

【公開日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【年通号数】公開・登録公報2008-009

【出願番号】特願2007-217642(P2007-217642)

【国際特許分類】

G 0 2 B 3/00 (2006.01)

F 2 1 V 5/00 (2006.01)

F 2 1 V 8/00 (2006.01)

F 2 1 V 5/02 (2006.01)

F 2 1 V 5/04 (2006.01)

G 0 2 B 5/02 (2006.01)

G 0 2 F 1/13357 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

F 2 1 Y 103/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 3/00 A

F 2 1 V 5/00 5 3 0

F 2 1 V 8/00 6 0 1 A

F 2 1 V 5/00 3 2 0

F 2 1 V 5/02 1 0 0

F 2 1 V 5/04 4 0 0

F 2 1 V 5/04 2 0 0

F 2 1 V 5/02 3 0 0

G 0 2 B 5/02 C

G 0 2 F 1/13357

G 0 2 F 1/1335

F 2 1 Y 103:00

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月28日(2010.7.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光が入射される入射面と光が出射される出射面とを有するプレート型ボディと、
前記プレート型ボディの入射面または出射面のうちの少なくとも何れか一面に配置され
た複数のマイクロレンズと、

前記入射面または出射面のうち前記複数のマイクロレンズが配置されていない他の面に
配置された複数のプリズムと、を備えて光を拡散させることを特徴とする広角拡散器。

【請求項 2】

前記複数のマイクロレンズは、サイズの異なる複数種のマイクロレンズが混合された状
態でなされたことを特徴とする請求項 1 に記載の広角拡散器。

【請求項 3】

前記複数のマイクロレンズは、均一なサイズを有することを特徴とする請求項 1 に記載の広角拡散器。

【請求項 4】

前記複数のマイクロレンズは、球面または非球面を有することを特徴とする請求項 2 または 3 に記載の広角拡散器。

【請求項 5】

前記複数のマイクロレンズは、球面または非球面を有する半球型レンズであることを特徴とする請求項 4 に記載の広角拡散器。

【請求項 6】

前記複数のプリズムは、頂角の異なる複数種のプリズムからなるか、または頂角が同じであるプリズムからなることを特徴とする請求項 1 ないし 5 のうち何れか 1 項に記載の広角拡散器。

【請求項 7】

前記複数のプリズムのうち少なくとも一つは、前記プレート型ボディにほぼ平行な平面部を有することを特徴とする請求項 6 に記載の広角拡散器。

【請求項 8】

前記複数のプリズムのうち少なくとも一つは、角すい台型プリズムであることを特徴とする請求項 7 に記載の広角拡散器。

【請求項 9】

液晶パネルと、

前記液晶パネルの背面に設けられてコリメーディングされた光を前記液晶パネルに照射するバックライトユニットと、

前記液晶パネルを透過した光を拡散させる請求項 1 ないし 8 のうち何れか 1 項に記載の広角拡散器と、

を備えることを特徴とする液晶表示装置。

【請求項 10】

前記広角拡散器は、前記複数のプリズムが前記液晶パネルから光が入射される側に位置され、前記複数のマイクロレンズが前記液晶パネルから遠く位置するように配置されるか、または前記複数のマイクロレンズが前記液晶パネルから光が入射される側に位置され、前記複数のプリズムが液晶パネルから遠く位置するように配置されたことを特徴とする請求項 9 に記載の液晶表示装置。